

研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-521
研究課題名 乳房外パジェット病における免疫寛容メカニズムの解析
研究期間 西暦 2014 年 2 月（倫理委員会承認後）～2016 年 3 月
対象材料 x 病理材料（対象臓器名 乳房外パジェット病切除皮膚 ） x 生検材料（対象臓器名 乳房外パジェット病生検皮膚 ） 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間 西暦 2000 年 4 月～2014 年 1 月
意義、目的 包括同意のもとに採取されている、2000 年 4 月から 2014 年 1 月の間に採取された腫瘍サンプル（パラフィン包埋、凍結）を用いて、腫瘍内の免疫担当細胞を免疫染色や定量性 PCR を行うことにより、腫瘍内の免疫環境を明らかにすることを目的とします。これらのデータは乳房外パジェット病に対する新規治療法の開発につながることであり、有意義であると考えます。
方法 既に包括同意のもとに採取されている、当科外科手術および生検後の病理組織を用いて、免疫染色や定量性 PCR を行い、腫瘍内の抑制型免疫担当細胞（腫瘍随伴性マクロファージ、制御性 T 細胞など）の検討や、腫瘍におけるケモカイン関連遺伝子の発現の検討を行う。 検査項目： 免疫染色（マクロファージ関連マーカー、腫瘍随伴性ケモカイン、腫瘍内浸潤リンパ球マーカー） 定量性 PCR：腫瘍遊走関連ケモカイン、サイトカインの測定 評価方法：浸潤細胞のカウントもしくは HistoFAX による定量化を行い、統計学的に処理を行う。 本研究の研究対象者となることを拒否される場合は下記までご連絡ください。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学医学系研究科皮膚科学分野 藤村 卓 仙台市青葉区星陵町 1-1, 022-717-7271